

第37回全日本少年サッカー大会十勝地区予選
第38回全十勝少年サッカーU-12春季大会 兼 第18回勝毎スプリングカップ

開催要項

- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | 日 時 | 平成25年5月11日（土）・12日（日） |
| 2 | 会 場 | 十勝川河川敷サッカー場 |
| 3 | 主 催 | （公財）北海道サッカー協会・（一社）十勝地区サッカー協会・十勝毎日新聞社 |
| 4 | 主 管 | （一社）十勝地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟 |
| 5 | 後 援 | 十勝教育局・帯広市教育委員会 |
| 6 | 参加資格 | ① （公財）日本サッカー協会に加盟登録された第4種のチーム及び選手であること。
② 本年度日本スポーツ少年団登録を済ませたチームであること。（登録を前提とする）
③ スポーツ傷害保険に加入を済ませたチームであること。
④ 1チームの参加とするが、同学年で人数が多いチームは2チームの参加を認める。（17②参照）
⑤ チーム編成は指導者4名、選手20名（交代要員12名）以内とする。
⑥ 3級以上の公認審判員を1名以上帯同できるチームであること。（12③参照） |
| 7 | 競技規則 | ① 本年度（公財）日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。
② ピッチサイズは68m×50mとする。
③ 本大会期間中退場を命じられた選手は次の1試合に出場できない。
（その後の処置は規律委員会で決定する。）
④ 本大会期間中警告を2度受けたものは次の1試合に出場できない。 |
| 8 | 競技方法 | ① 1次ラウンド～リーグ戦、2次ラウンド～トーナメント戦とする。
② 試合時間は20分－8分－20分とする。
③ 1次ラウンドは勝ち点・得失点差・総得点・当該チームの戦績・抽選の順で順位を決定する。
2次ラウンドにおいて準決勝より時間内に勝敗が決しない場合は前後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合は3名のPK戦により次回戦進出チームを決定する。
④ 使用球は4号公認球とする。スパイクは取替え式でないものとし、スネあてを着用すること。
⑤ 交代は、交代ゾーンからの自由な交代とする。
☆ 道東地区ブロック代表戦参加チームは4チームとする。（十勝地区開催枠1が含まれる）
※ （競技方法は参加チーム数により変更あり。） |
| 9 | 参加申し込み方法 | 大会参加料6,500円を連盟口座に振込みし、締切り日までに所定の用紙により下記申し込み先に郵送すること。（本大会は電子メールによる受付は行わない。）
※ 申込み締切り 平成25年4月19日（金）（以後の受付は行わない。）

☆ 提出書類
参加申し込み書・主将のコメント・チームの集合写真（すべて一括で申し込みすること）
※ 申し込み先 〒080-0804 帯広市東4条南23丁目20-1 草野康一
TEL・FAX 0155-23-6083 携帯 090-1648-5844 |
| 10 | 問い合わせ | 申し込み先と同じ |
| 11 | 監督会議 | 平成25年5月2日（木） PM7:00 十勝プラザ401講習室 |
| 12 | 審判運営 | ① 審判3人制で行う。
② 3級以上の公認審判員1名を含む2名を登録すること。
③ 3級以上の公認審判員を帯同出来ないチームは、一日ごと不帯同審判料5,000円を当協会に納入すること。
④ 3級以上の公認審判員を確保できないときは監督会議までに当協会4種審判委員長杉野まで連絡すること。（以降の審判員の変更は原則認めない）
※ 連絡先 杉野全由 携帯 090-3112-3711 |
| 13 | 表彰 | 決勝戦進出チームを表彰する。
（競技方法により変更あり。） |
| 14 | 開閉会式 | 開会式は行わない。閉会式は決勝戦進出チームの参加とする。 |
| 15 | 競技責任者 | 菅原資之・杉浦 宏 |
| 16 | 当番少年団 | 後日割り当てる。 |
| 17 | その他 | ① ユニフォームは、必ず2種類用意すること。
② 複数チームそれぞれにJFA公認指導者及び帯同審判員を要する。 |